



BILLION
VFC eLM
electro Luminescence Monitor

エレクトロ ルミネッセンス モニター

取扱説明書

CONTENTS

■ 取付けの前に1	P2	■ 取付方法9	P12
■ 取付けの前に2	P3	■ 取付方法10	P13
■ 汎用としてのお取付け	P4	■ 取付方法11	P14
■ 取付方法1/2	P5	■ 初期設定	P15
■ 取付方法3	P6	■ 表示説明・操作方法について	P16
■ 取付方法4	P7	■ オプションについて	P17
■ 取付方法5	P8	■ トラブルシューティング	P18
■ 取付方法6	P9	■ 端子図	P19~P23
■ 取付方法7	P10	■ 保証書	P24
■ 取付方法8	P11		

この度は、BILLION VFC-eLMをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

●本書は、製品の取付、取扱い(使用・操作)する場合の方法と注意事項が記載されています。

取付・取扱いの前には必ず熟読し、ご理解の上、作業を行ってください。

●本書は使用中に「故障かな?」と思ったり、疑問に思った時に役立つトラブルチェック等が記載されています。

いつでも読めるように、大切に保管してください。また、紛失した場合、再発行は致しませんのでご注意ください。

※本製品の取付け作業・使用中に起因する本体以外のトラブルに関する責任は一切負うことができませんので、ご了承の上、本製品を取付けて下さい。
本製品の御使用と同時に本事項に同意されたものと解釈致します。

警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人体に重症の傷害を負う、および死亡の可能性が想定される危険な行為を示します。
注意 !	この表示を無視して誤った取扱をすると、人体に軽傷または中程度以上の傷害を負う可能性が想定される危険な行為、及び重大な物的損害が発生し得る行為を示します。

警告	<ul style="list-style-type: none"> ●走行中のリモコン操作は大変危険です。絶対に行わないで下さい。 ●本製品を幼児の手に届く場所へ保管・取付けしないで下さい。 ●本製品および、同封品を人体の口の中へ入れたり、飲み込んだりしないで下さい。
-----------	--

注意 !	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は自動車用電動ファンを任意にコントロールする製品です。他の用途には絶対に使用しないで下さい。(12V車のみ対応) ●本製品は絶対に分解しないで下さい。ケース等の破損だけでなく保証の対象外となります。 ●取付の際は危険ですので必ずエンジンを切って、バッテリーの⊖ターミナルを外してから行って下さい。 ●メーター本体は必ず水平又は、安定した箇所に取付を行ってください。 ●ハーネスの取り回しは点火信号等ノイズの発生し易い箇所は絶対に避けて下さい。誤作動の恐れがあります。 ●走行中のリモコン操作は大変危険です。絶対に行わないで下さい。 ●本体・リモコンは金属・樹脂製です。耐熱樹脂ではありますが、車内の直射日光が当たる場所や、高温になる場所に取り付けた場合、熱により変形・故障する恐れがありますので、上記の場所をさけてお取付ください。 ●エンジンECUへの配線がございします。配線ミスは車両及び本製品に重大なトラブルを招く危険性があります。取付は必ず専門店にて行って下さい。専門店での取付け以外のトラブル問い合わせには応じられない場合があります。ご注意下さい。 ●本製品を適合車以外へ取付を行うには、電気的な専門知識が必要となります。必ず専門店にて取付を行ってください。 ●製品及び付属品に無理な力を加えますと破損の可能性がございします。 ●本製品付属の配線は耐熱部品ではありません。高温部を通す時は必ず熱対策を行ってください。 ●メーター本体を直射日光の当たる場所に設置しないで下さい。経年劣化が早く進行します。 ●アナログのスケールはデザインの都合上、1℃刻みではありません。予めご了承下さい。
----------------	---

【各ボタン及び本体部分名称と役割】

UPボタン
設定モードで各種温度設定を上げる時、ピークホールドを表示する時に使用します。

LIGHTボタン
ボタンを押す毎にバックライトが白/青/緑/アクア/オレンジに切り換ります。

FAN ONボタン
押しと電動ファンがHiの状態です5分間強制作動します。もう一度ボタンを押すと停止します。

SETボタン
各種設定や、その確認をする時に使用します。

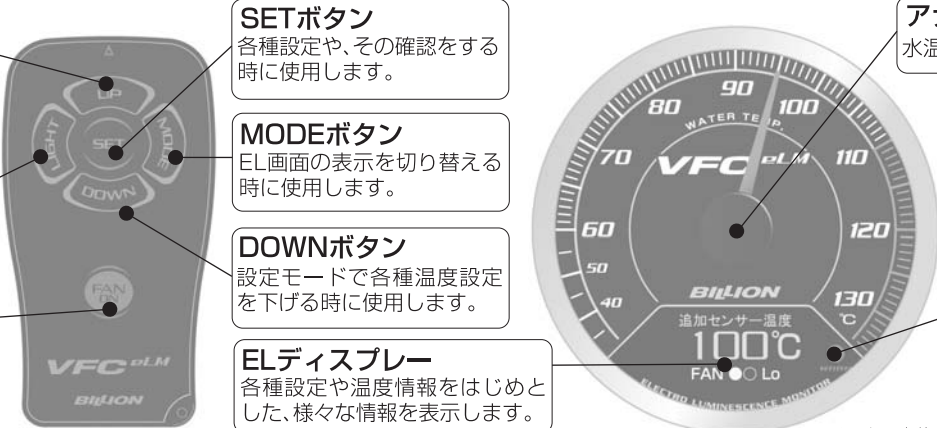
MODEボタン
EL画面の表示を切り替える時に使用します。

DOWNボタン
設定モードで各種温度設定を下げる時に使用します。

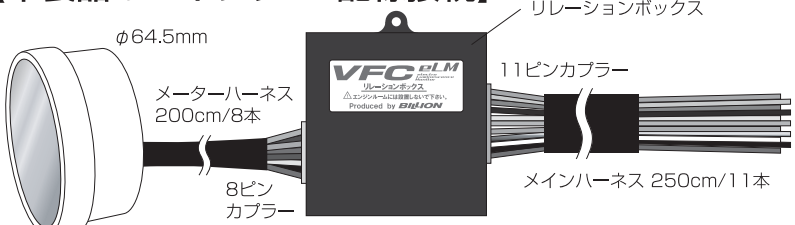
ELディスプレイ
各種設定や温度情報をはじめとした、様々な情報を表示します。

アナログ指針
水温を表示します。

ワーニングランプ
水温、もしくは追加センサー温度がワーニング温度になると点灯します。



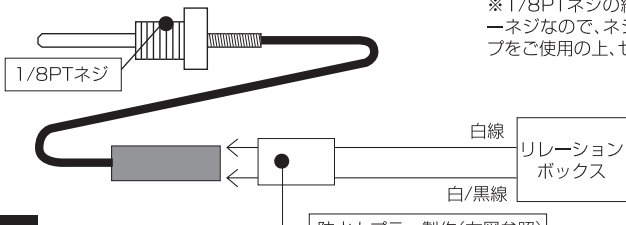
【本製品のコネクター・配線接続】



IG ONで12V通電の⊕電源	赤
ボディアース(本体電源用)	黒
付属センサーへ接続	白
付属センサーへ接続	白/黒
低速FN リレーコイル⊖	緑
高速FN リレーコイル⊖	青
FN仕様用ボディアース	黄
FN仕様2用配線	茶
別売追加センサーへ接続	桃
別売追加センサーへ接続	灰
スモールライトONで12V⊕電源	橙

※リレーションボックスは、室内に設置して下さい。エンジンルーム等への設置は本体故障の原因となります。
※取付車種により、FN仕様2へ変更する場合はリレーションボックス「ディップスイッチ」を←左にして下さい。

【付属センサーの取付方法】



1/8PTネジ

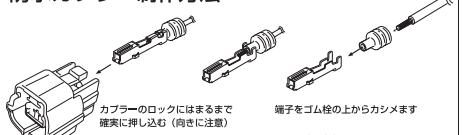
白線 リレーションボックス

白/黒線 リレーションボックス

防水カブラー製作(右図参照)

※1/8PTネジの締め込み過ぎには十分注意して下さい。テーパネジなので、ネジ山破損の恐れがございします。必ずシールテープをご使用の上、センサーアダプター等へ取付を行ってください。

防水カブラー制作方法



カブラーのロックにはまるまで確実に押し込む(向きに注意)

端子をゴム栓の上からカシメます

※配線に極性はありませぬ。

※付属センサー用白線・白/黒線の長さは、約2.5mです。
もし、不足する場合は、使用しない他の色のハーネスを切断して延長して下さい。

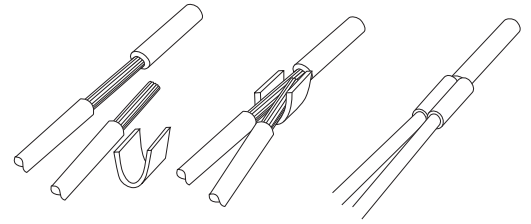
●付属品一覧(製品取付前に必ずご確認ください。)

VFC-eLM本体	1個	両面テープ	4個
専用リモコン	1個	スプライス	6個
リレーションボックス	1個	丸端子	2個
メータースタンド	1式	8ピンハーネス	1個
付属センサー	1式	11ピンハーネス	1個
取扱説明書(本書・保証書付)	1冊		

※ラジエーターホースにセンサーを接続する場合は、別途、ラジエーターホース内径に適合する水温センサーアタッチメント(1/8PT)が必要です。

★スプライスの使用方法

- 1.配線被覆を1cm程度剥く
- 2.剥いた配線同士を巻付ける
- 3.巻付けた部分にスプライスを取付け、電工ペンチで圧着
- 4.その上から絶縁テープを巻いて完了です。



●本製品の仕様

対応車両電圧: 12V
 本体定格電圧: 3.3V
 FN仕様1: FAN ON時=緑-黄接続/FAN OFF時=緑-黄切断
 測定可能水温温度域: 0~150℃

電動ファン駆動リレー容量: 3A
 電動ファン制御方式: 2段階

電動ファン制御温度域: 0~150℃

電動ファン停止温度差: 1~10℃

FN仕様2: FAN ON時=緑-茶切断/FAN OFF時=緑-茶接続
 ワーニング温度域: ~150℃

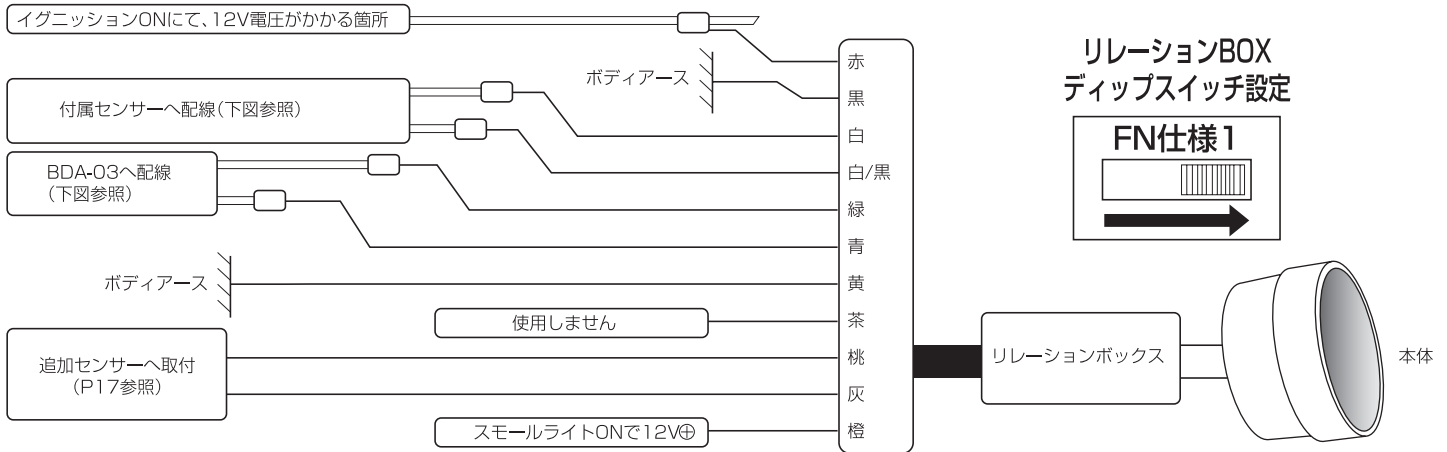
●取付方法一覧

メーカー	車両型式	取付方法	ページ
ニッサン	K11/S14/S15(~H13.9)/RNN14/JN15/HP10/HP11(SR20DE)/BNR34/ER34/Z32(NA)/WGNC34(H10.8~)	①	5
	BNR32/HCR32/BCNR33/ECR33/WGNC34(~H10.7)	③	6
	Z33 2002/7~2005/9 (VQ35DE)	⑨	12
	Z33 2005/9~(VQ35DE)	⑩	13
	JN15(N1)/HP11(SR20VE)/Z32ターボ/Y33ターボ	②	5
	K12/BZ12	⑪	14
トヨタ	ST215W/SXE10/ZZW30/ZZE123G/ZZT231/ZZE128	①	5
	EP91ターボ/JZX90ターボ/MZ20/MA70/JZS147ターボ	③	6
	SW20ターボ(H5/10~)	④	7
	EP82(M/T)/AE92(4AG)/AE101(4AG)/AE111(4AG)/ST202・5・6/JZS147(NA)/JZA70・80ターボ/JZX90(NA)	⑧	11
	JZX100ターボ/JZZ30ターボ/AW11(S/C)		
	SCP10・11/NCP20・21・30・31/NCP91	②	5
ホンダ	JZX161ターボ/JZX110ターボ	⑦	10
	EG6・9/EK4・9/DA6・8(H3.10~H5.4)/CL7/EP3/GD1~4/RB1/DC2R/DC5R/DB8R/AP1/BB1・4/CF4~7/RN3/RN4	①	5
マツダ	NA1(~H7.3)/PP1	③	6
	FD3S 1型(H3.10~H5.7)/4型以降(H7.12~)	⑤	8
	FD3S 2型・3型(H5.7~H7.11)	⑥	9
	FC3S後期(H1.5~H2.10)	③	6
	FC3S前期/DAJPF/JCESE	⑧	11
	NA6CE/NA8C/NB6C/NB8C	①	5
三菱	NCEC	⑪	14
	CD9A/CE9A/CN9A/CP9A/CM5A	②	5
	EC5W/EC5Aターボ/CT9A(M/Tのみ GT-Aはエボ7のみ可)	⑦	10
スバル	CA4A/CB4A/CC4A/CJ4A/CK4A/Z16A(2型)/DE3A	①	5
	GDA/GDB/BL5/BP5/GC8/GF8/BG5/BD5/BH5/BE5/SF5/SG5/SG9(全車ターボのみ)	②	5
スズキ	ZC31S/21S/11S	⑩	13
ダイハツ	LAM201G/L880K	①	5
汎用	純正ファン以外や適合車種以外の電動ファンに接続する場合	汎用	4

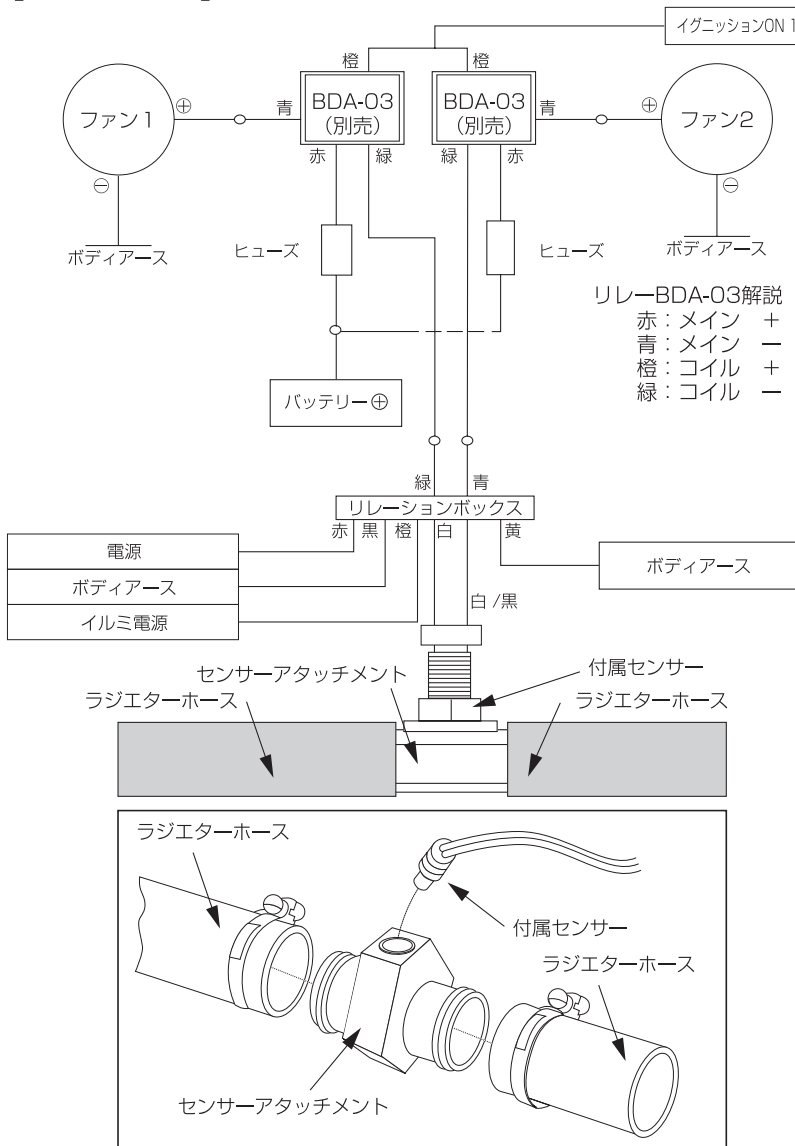
※ECU端子図は、P.19以降に掲載されております。

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。*リレーボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。



《取付概略図》



《接続方法》

1. 付属センサーをラジエターアッパーホース等へ取付ます。(取付にはセンサーアタッチメントが必要です。)
2. センサーに付属しているセンサー用カプラーの製作を行います。リレーボックス側配線の白、白/黒にカプラー取付が完了したら、センサーと接続します。(センサー取扱説明書参照)(使用配線は左図参照)
3. リレーボックス側の緑をBDA-03の緑へ接続して下さい。
4. BDA-03の橙をイグニッションONにて12Vかかる箇所に接続して下さい。(常時電源に繋がらないで下さい) BDA-03の赤をバッテリー⊕へ接続して下さい。
5. BDA-03の青を電動ファン⊕配線へ接続して下さい。
6. 以上はBDA-03を使用した場合の接続方法です。別途社外リレーを使用の場合は、下記を参考に取付を行って下さい。

リレーボックス緑・FAN ONにて、この配線接続先がリレーボックス黄のアースと接続。

リレーボックス青・2基目の電動ファンを装着の場合、緑同様もう一つのリレーに接続する事で、2基のファンを独立制御できる。

BDA-03 緑/橙・・・リレーのスイッチング配線。
BDA-03 青/赤・・・リレーの大電流側配線。

※注)ファン1基につき1つのリレーが必要です。

7. VFC本体の取付と、専用センサーの取付及び、BDA-03の取付が完了したら、イグニッションをONして下さい。
8. スタートアップモードのあと、水温が表示されたら「P.15 初期設定」を行って下さい。
9. 最後に電動ファン作動温度を現在水温まで下げて、ファンが作動すれば、取付完了です。

※ ヒューズは使用するファンの容量に応じて交換して下さい。

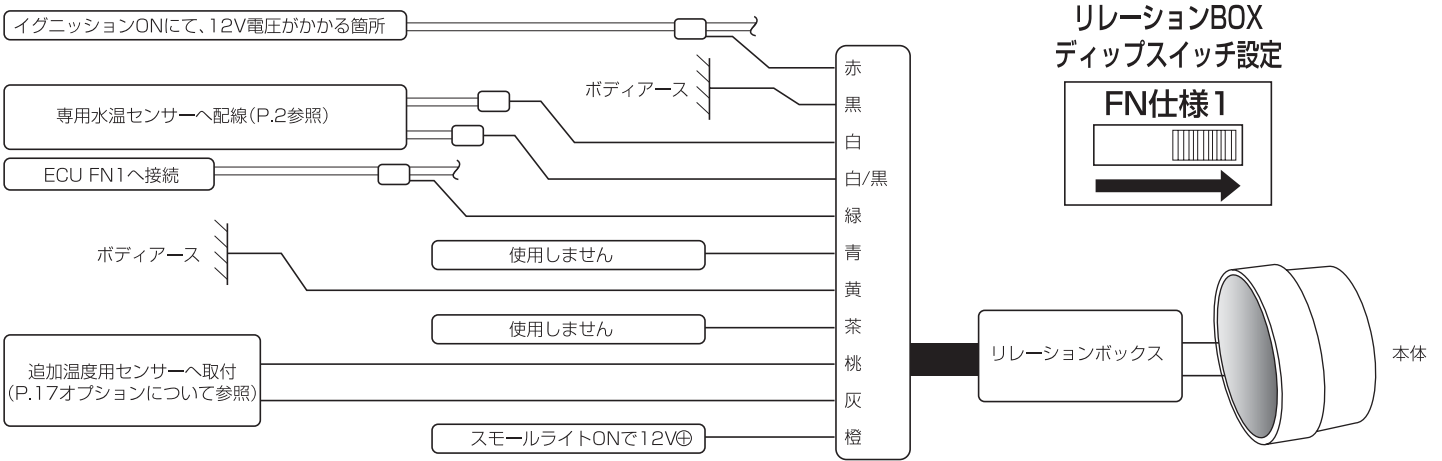
※センサーアタッチメントは、ラジエターホースの内径に適合した商品をお買い求め下さい。

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

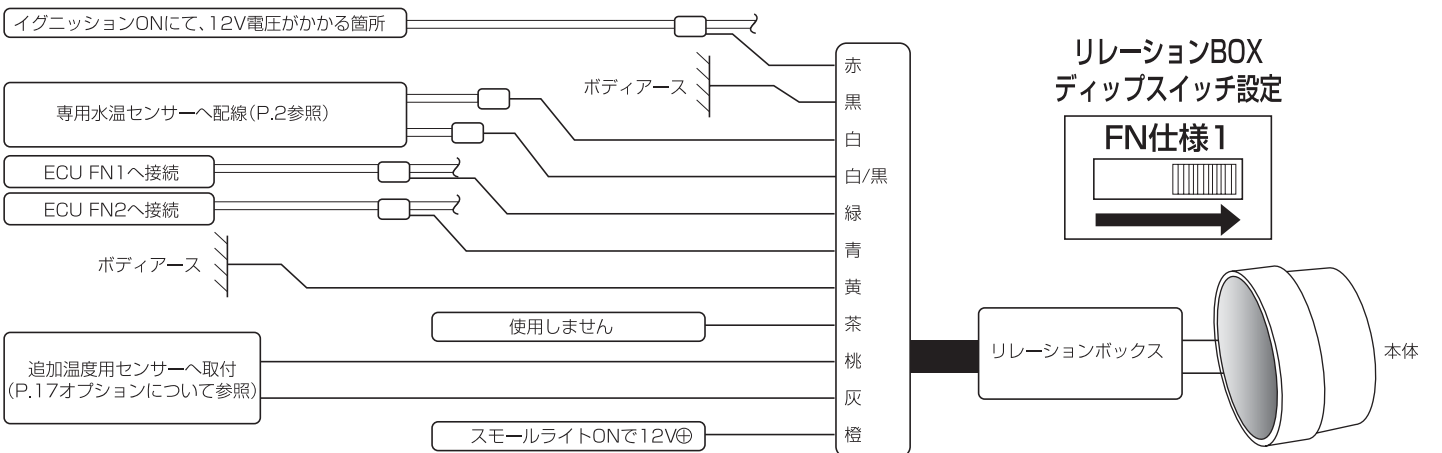
BVEL-001 取付方法1

メーカー	車両型式
ニッサン	K11/S14/S15(～H13.08)/RNN14/JN15(標準仕様)/HP10/HP11 BNR34/ER34/Z32(NA)/WGNC34(H10/8～)
トヨタ	ST215W/SXE10/ZZW30/ZZE123G/ZZT231/ZZE128
マツダ	NA6CE/NA8C/NB6C/NB8C
ダイハツ	LAM201G/L880K
ホンダ	EG6・9/EK4・9/DA6・8(H3.10～H5.4)/CL7/EP3/GD1～4/RB1/DC2R/DC5R/DB8R/AP1/BB1・4/CF4～7/RN3/RN4
三菱	CA4A/CB4A/CC4A/CJ4A/CK4A/Z16A(2型)/DE3A



BVEL-001 取付方法2

メーカー	車両型式
スバル	GC8/GF8/BG5/BD5/BH5/BE5/SF5/SG5/SG9/GDA(B)/BL5/BP5(全車ターボのみ)
ニッサン	JN15(N1仕様)/HP11(SR20VE)/Z32ターボ/Y33ターボ
三菱	CD9A/CE9A/CN9A/CP9A/CM5A
トヨタ	SCP10/SCP11/NCP20・21・30・31/NCP91



【本体とハーネスの接続及び固定】

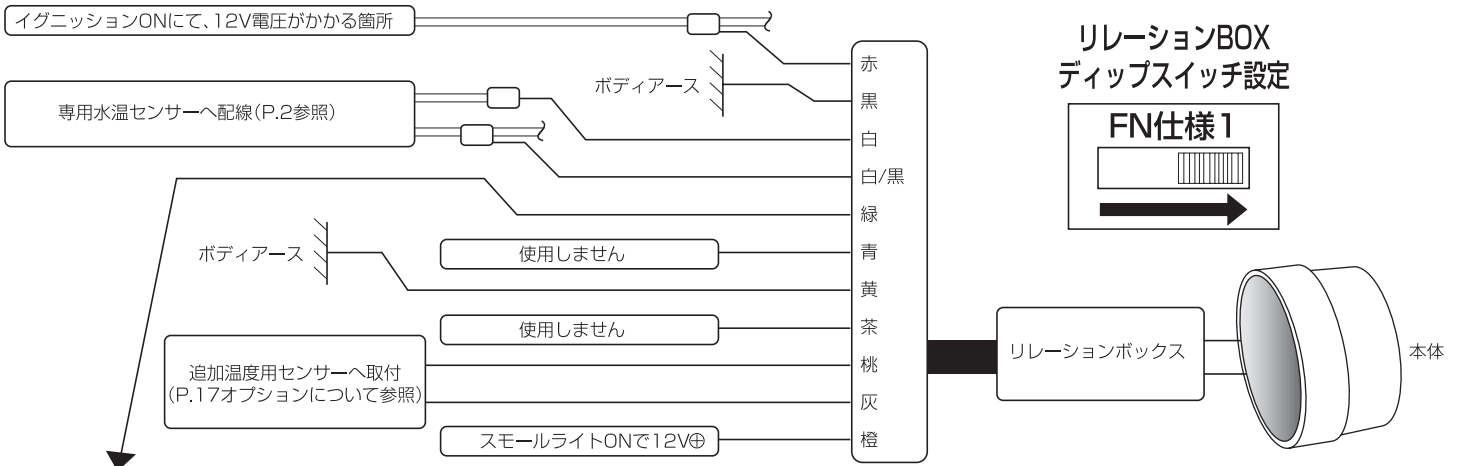
- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカブラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法3

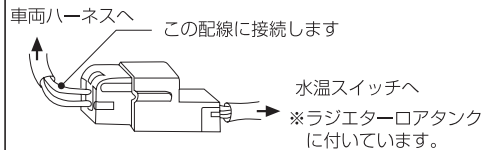
メーカー	車両型式
ニッサン	BNR32/HCR32/BCNR33/ECR33/WGNC34 (前期~H10/7)
トヨタ	EP91 (ターボ)/JZX90 (ターボ)/MZ20/MA70/JZS147 (ターボ)
マツダ	FC3S (後期H1/5~H2/10)
ホンダ	NA1 (~H7/3)/PP1



【水温スイッチ他への接続】

NISSAN R32 BNR32 R33 BCNR33 WGNC34

※ラジエターロアタンク部に水温スイッチがあります。そこから出ている線を辿っていくとファンシュラウド右側に(運転席からみて)緑色のカプラーが付いています。図を参考にリレーションボックスの緑線を指定の配線に接続して下さい。(接続する線を間違えるとファンは回りません。)



MAZDA FC3S

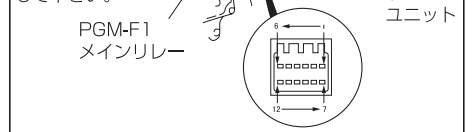
※右ストラット前方にチェックコネクター(緑色/1極)が付いています。その線へリレーションボックスの緑線により接続して下さい。

進行方向



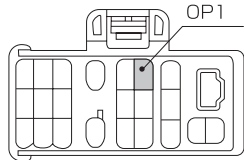
HONDA NSX (~H7/3)

※ECU近くにクーリングファンコントロールユニットがあります。リレーションボックスの緑線を12番端子(緑/黒)線へ接続して下さい。



TOYOTA JZX90 JZS147

※エンジンルーム内の黒いBOX「DIAGNOSIS」(約50×30)がエンジン左側(助手席側)にあります。フタを開けて<OP1>の位置へリレーションボックスの緑線を差し込んで下さい。



TOYOTA MZ20 MA70 EP91 (ターボ車)

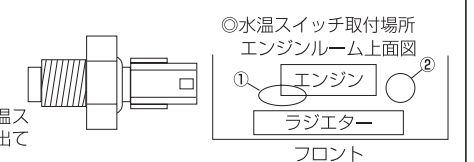
☆MZ20/MA70

サーモスタットカバー①付近に水温スイッチ(丸ソケット/1P青色)が付いています。スイッチより出ている配線へリレーションボックスの緑線を接続して下さい。

☆EP91 (ターボ車)

ラジエターのロアホースのエンジン側付け根②付近に水温スイッチ(楕円ソケット/1P)が付いています。スイッチから出ている配線へリレーションボックスの緑線を接続して下さい。

エンジンルーム内に左図のような水温スイッチがありません。付属のスプラインを使用して水温スイッチの線へリレーションボックスの緑線を接続して下さい。



HONDA PP1

※ラジエター下部にある2Pカプラーの青線にリレーションボックスの緑線を接続して下さい。

【本体とハーネスの接続及び固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカプラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

《取付方法》

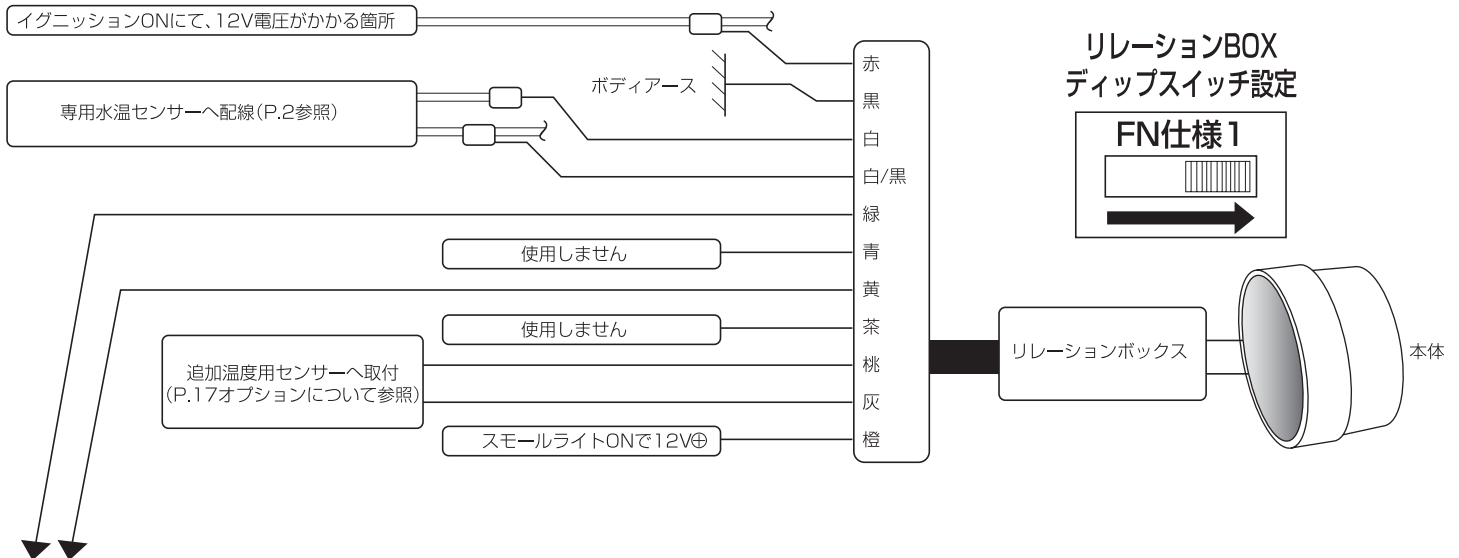
1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法4

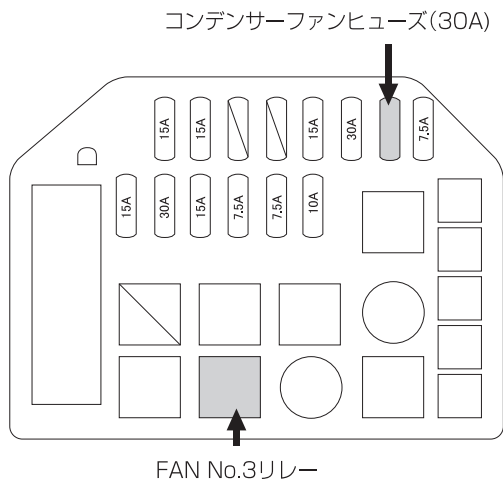
メーカー

車両型式

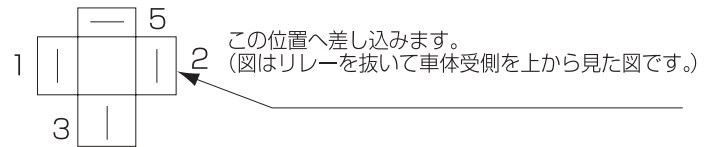
トヨタ SW20ターボ(H5/10~)



ボンネット内フロント左側に下図のようなリレーBOXがあります。
BOXのフタをあけて下記図を参考に指定の位置にリレーションボックスの緑線と黄線を接続して下さい。



緑線接続方法 【1】左図の『FAN NO.3リレー』を抜いて下さい。
【2】抜いた箇所に被覆を15mmほど剥いた緑線を差し込んで下さい。



【3】抜いたリレーを元どおり差し込みます。
(配線が他の部分に接触しないように注意して下さい)

黄線接続方法 【1】左図の『コンデンサーファンヒューズ(30A)』を抜いて下さい。
【2】抜いた箇所に被覆を15mmほど剥いた黄線を差し込んで下さい。
【3】抜いたヒューズを元どおり差し込みます。
(配線が他の部分に接触しないように注意して下さい)

※車外への配線がございます。必ず結線箇所の絶縁及び、防水処理を行って下さい。

※誤配線は車両に重大なトラブルを招く恐れがございます。取付に際しては細心の注意をもって臨んで下さい。

【本体とハーネスの接続及び固定】

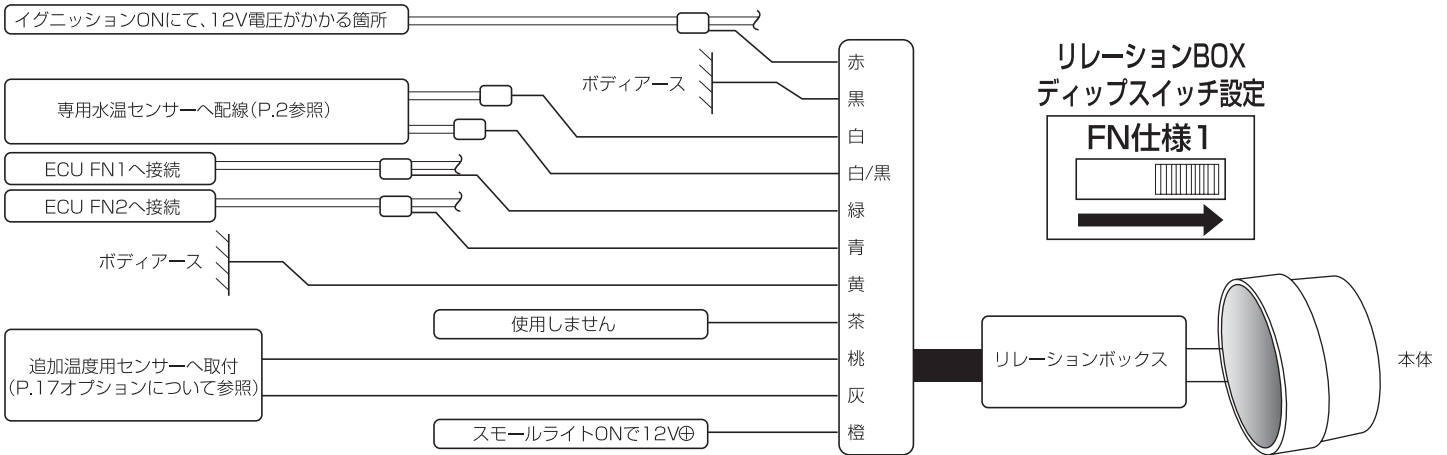
- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカプラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。
(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法5

メーカー	車両型式
マツダ	FD3S 1型(H3/10~H5/07)
	FD3S 4型~6型(H7/12~最終型)



POINT!

FD3Sの電動ファンは、水温やエアコンの作動によって低速・中速・高速の3段階でファンの回転スピードが変化します。基本的な配線方法では、低速・中速の独立制御となり、中速作動しているときに「エアコン」をONすると、ファンが高速で作動します。別売:VA-2を取付けると、中速・高速の独立制御が可能になります。

FD3S用電動ファン最高速回転サーキット用アダプター(VA-2¥3,500)

エアコンのスイッチを入れなくても電動ファンを高速制御できるようになるパーツです。このアダプターを取り付けると、電動ファンは、中速・高速のみの制御となり、低速での制御ができなくなりますので、ご注意下さい。

純正制御			VFC-eLM制御			VFC-eLM + VA-2制御		
水温	エアコン	ファン	水温	エアコン	ファン	水温	エアコン	ファン
101℃以下	ON	低速度	設定水温以下	ON	低速度	設定水温以下	ON	低速度
	OFF	停止		OFF	停止		OFF	停止
101℃以上	ON	中速度	低速作動設定	ON	中速度	低速作動設定	ON	高速度
	OFF	低速度		OFF	低速度		OFF	中速度
108℃	ON	高速度	高速作動設定	ON	高速度	高速作動設定	ON	高速度
	OFF	中速度		OFF	中速度		OFF	高速度

※注:ファンを高速作動させると、冷却性能は大幅に向上しますが、バッテリー、オルタネーター、ファンモーターへの負担は増大します。

【本体とハーネスの接続及び固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカブラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

《取付方法》

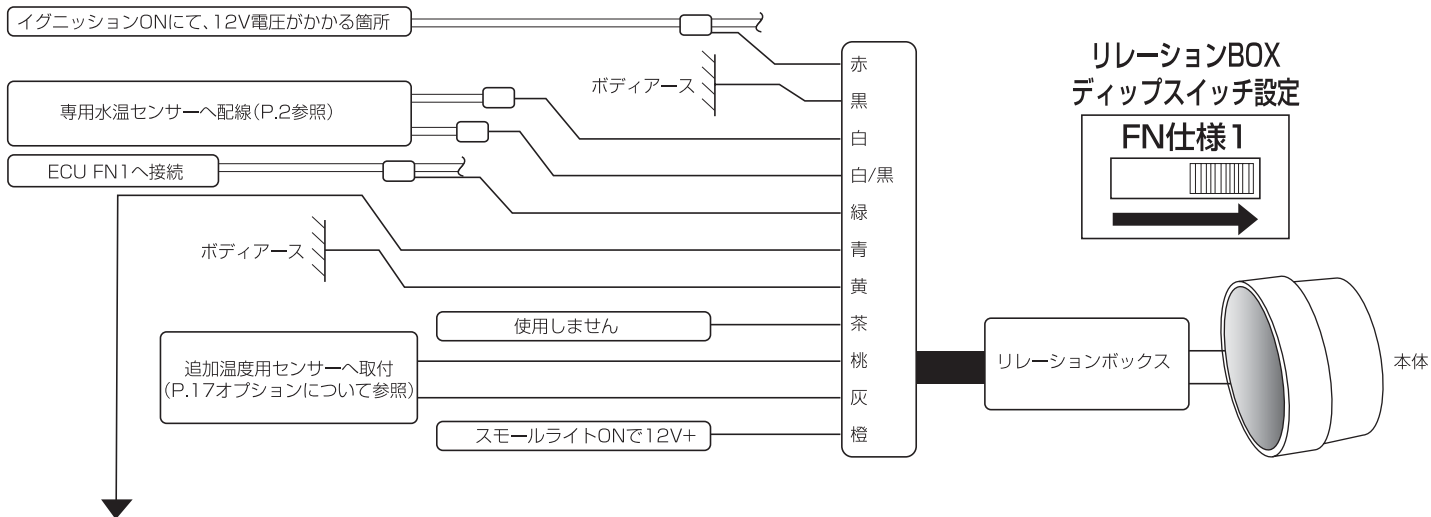
1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。＊リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法6

メーカー

車両型式

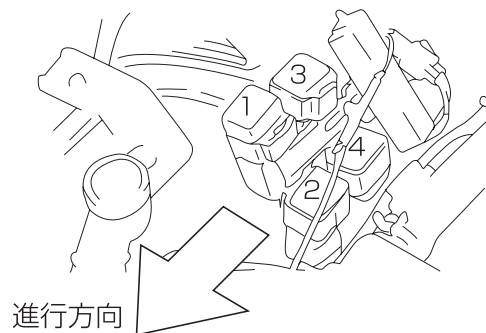
マツダ FD3S 2型・3型(H5/7~H7/11)



リレーションボックスの青線をエンジンルーム内のファンリレーNo.3 緑/黒線へスプライスを使用して接続して下さい。

★該当する配線が見つからない場合は、下記をご参考にして下さい。

右図4つのリレーに太い配線が2本ずつ、及び細い 黒/黄の配線が1本ずつ存在しますが、この配線には接続はしません。上記の配線を除くと各リレーに1本ずつ、合計4本の配線が残りますが、残りの4本のうち2本が同色の配線になっています。この2本の同色の配線にも接続しません。最後に残った2本のうち、アースに落とすとエアコンの電源が入る線がエアコンリレーの配線です。もう1本がリレーNo.3 の配線です。このリレーNo.3の配線にリレーションボックスの「青線」を繋いで下さい。



POINT!

FD3Sの電動ファンは、水温やエアコンの作動によって低速・中速・高速の3段階でファンの回転スピードが変化します。基本的な配線方法では、低速・中速の独立制御となり、中速作動しているときに「エアコン」をONすると、ファンが高速で作動します。別売：VA-2を取り付けると、中速・高速の独立制御が可能になります。（※詳細は左ページ）

【本体とハーネスの接続及び固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカブラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。（本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。）

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

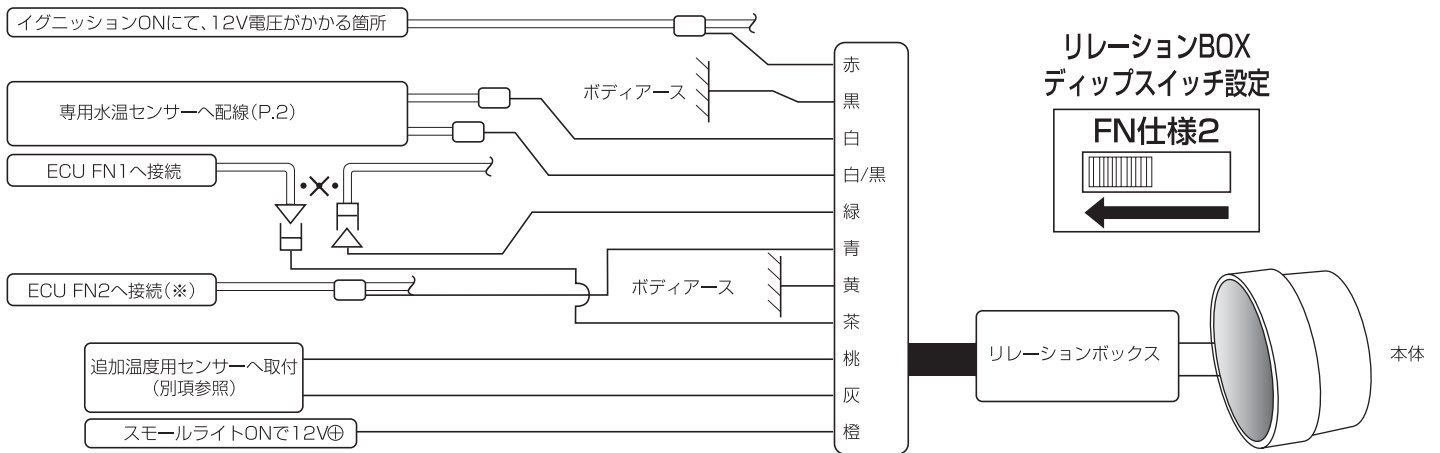
BVEL-001 取付方法7

メーカー	車両型式
------	------

トヨタ JZS161ターボ/JZX110ターボ

マツダ EC5W/EC5Aターボ/CT9A(M/Tのみ GT-Aはエボ7のみ可)

※CT9Aエボ7・8・9のみFN2へ結線すると、2段階でファン制御が可能です。



【本体とハーネスの接続及び固定】

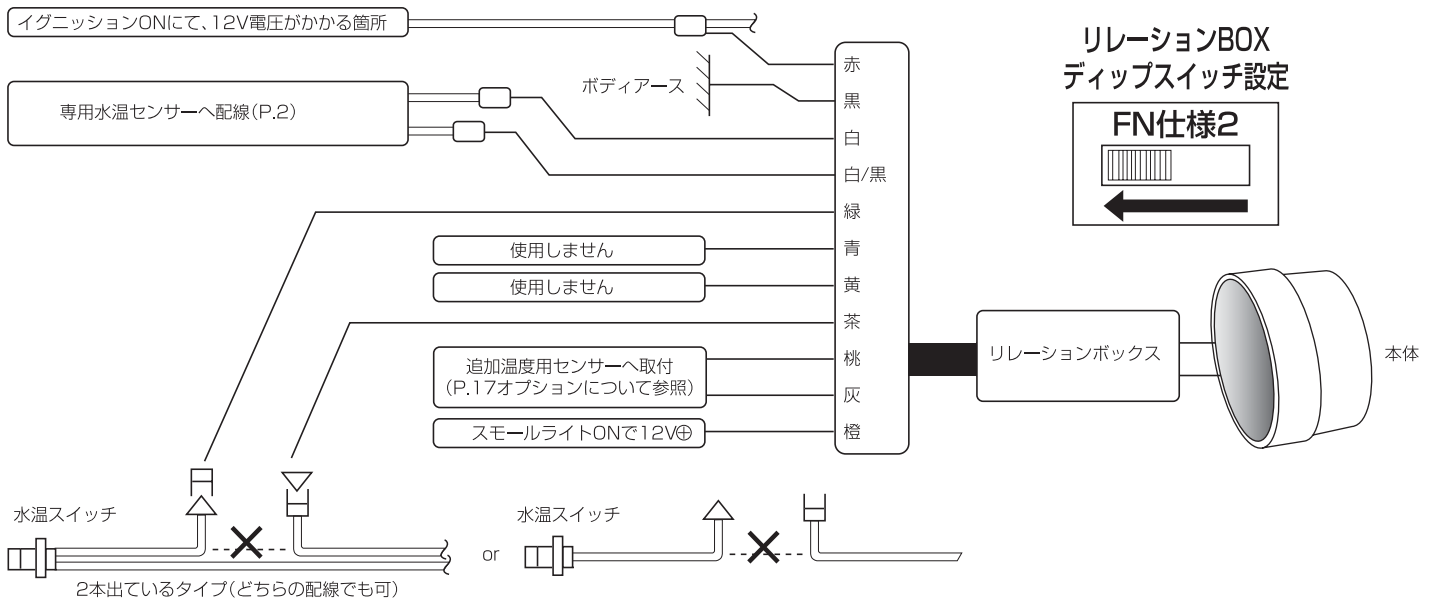
- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカプラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法8

メーカー	車両型式
トヨタ	EP82(MTのみ)/AE92(4AG)/AE101(4AG)/AE111(4AG)/ST202・5・6/JZS147(NA) JZA70・80(ターボ)/JZX90(NA)/JZX100(ターボ)/JZZ30(ターボ)/AW11(S/C)
マツダ	FC3S(前期)/DAJPF/JCESE



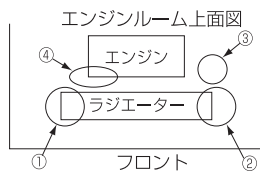
- 1) 下記図を参考に水温スイッチを確認して下さい。
- 2) 水温スイッチは配線が1本出ているタイプと2本出ているタイプがあります。
⇒1本出ているタイプ → そのまま配線をカットして下さい。
⇒2本出ているタイプ → どちらか1本の配線(どちらの配線でも可)をカットします。
※配線にギボシを付けることを考慮してカットして下さい。
- 3) カットした配線のそれぞれにギボシを使用して配線して下さい。

車名	型式	エンジン型式	年式	位置
カローラレビン/ スプリンタートレノ MR2(S/C)	AE92 AE101 AE111 AW11	4AG /4AGZ	S62/05~H3/06 H3/06~H7/04 H7/05~	③ ③ ③ ②
スターレット セリカ/カレン	EP82 ST202.6 ST205	4EF (T) 3SG 3SGT	H1/12~H7/12 ~H9/11	③ ① ①
スープラ	JZA70 JZA80	1JZGT 2JZGT	H2/8~H5/4 H5/5~	② ②
マークII/クレスタ /チェイサー	JZX90 JZX100	1(2)JZGE 1JZGT	H4/10~H8/9 H8/9~	① ①
ソアラ	JZZ30			①
アリスト	JZS147	2JZGE	H3/10~H9/8	②
RX-7	FC3S	13BT	S60/9~H1/3	④
コスモ	JCESE	20B	H2/2~	④
フェスティバ	DAJPF	BJ	H4/4~	③

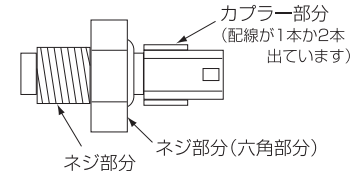
◎ 水温スイッチの確認

イグニッションキーをONにして水温スイッチのカプラーを抜くと電動ファンが回ります。この方法にて水温スイッチを確認して下さい。

◎ 水温スイッチ取付け場所



◎ 水温スイッチの形状



- ① ラジエーターロアタンク(2Pカプラー/どちらか1本の配線を加工)
- ② ラジエーターロアタンク(2Pカプラー/どちらか1本の配線を加工)
- ③ ラジエーターロアホースのエンジン側付け根センサーモスットカバー付近にあるセンサー(1Pカプラー)
- ④ サーモスタットケース上側(1Pカプラー)

【本体とハーネスの接続及び固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカプラーに接続して下さい。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行って下さい。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定して下さい。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置して下さい。)

《取付方法》

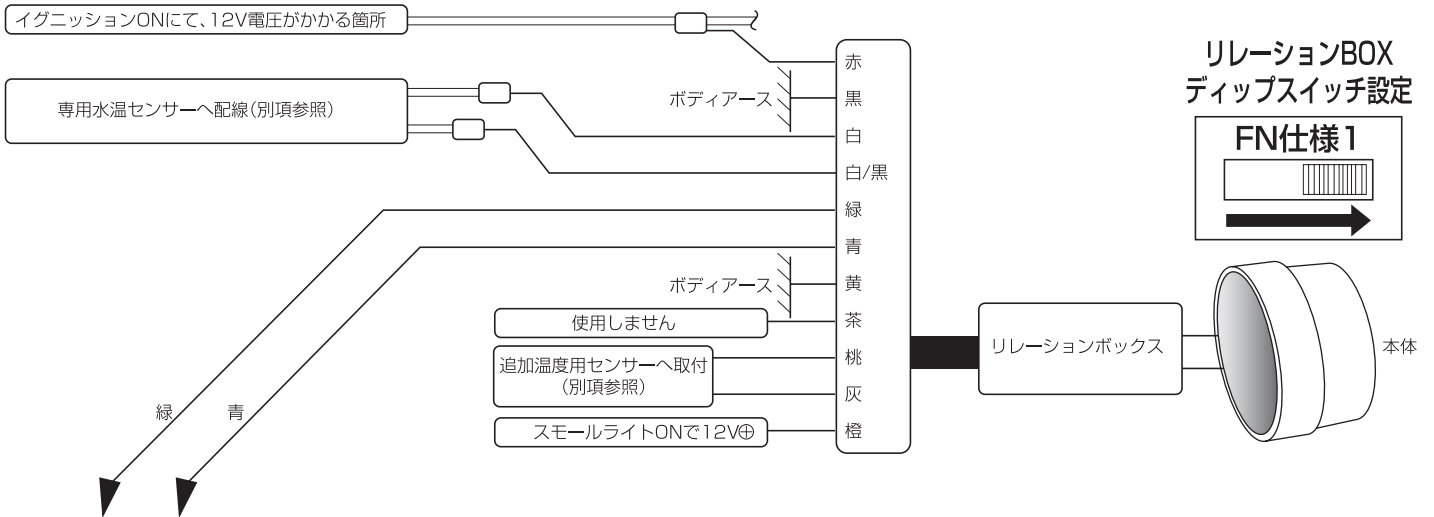
1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法9

メーカー

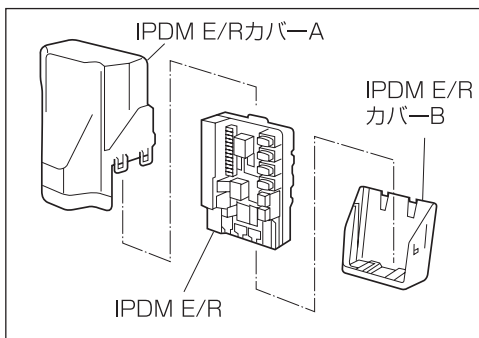
車両型式

ニッサン フェアレディZ 前期・中期(VQ35DE)

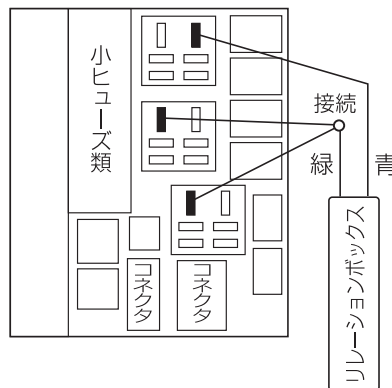


ボンネット内フロント左側に下図のようなリレーBOXがあります。BOXのフタをあけて下図を参考に指定の位置にVFCの緑線と青線を接続して下さい。

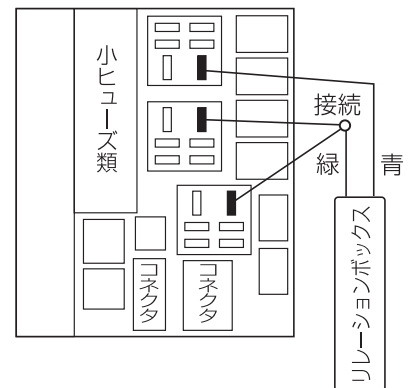
IPDM E/Rカバー取外し方



Z33 前期型(14/7~16/9)



Z33 中期型(16/9~17/9頃)



【配線解説】

- ① エンジンルーム助手席バルクヘッドカバー(BATTERYと記載されている)を外す。
- ② IPDM E/Rカバー-Aを取り外す。(上図参照)
- ③ 内部が見える状態にてファンリレー3つを取外す。
- ④ 取り外すと、受け側6極端子が見えるので上図の通りに端子へ配線を差し込む。
- ⑤ この時、配線の被覆は2.5cm~3cm程度むく。
- ⑥ 端子へさしこんだ後にファンリレーを上から取付ける。
- ⑦ この時差し込みが固くなるので、破損等に気を付けて長くむいた配線を取りまわして「カチッ」というまでリレーを差し込めば終了。

※誤配線は車両に重大なトラブルを招く恐れがございます。取付に際しては細心の注意をもって臨んで下さい。

【本体とハーネスの接続及び固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカブラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。※リレーションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法10

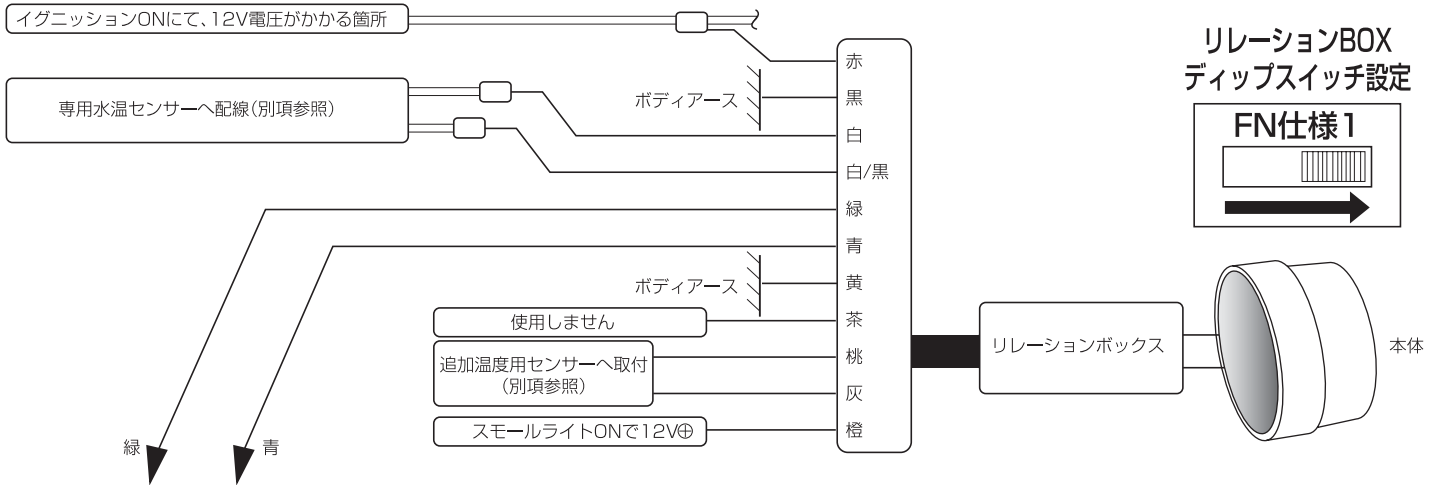
メーカー

車両型式

ニッサン フェアレディZ33後期(H17/9頃～ HRエンジン不可) ※BDA-03×2が必要となります。

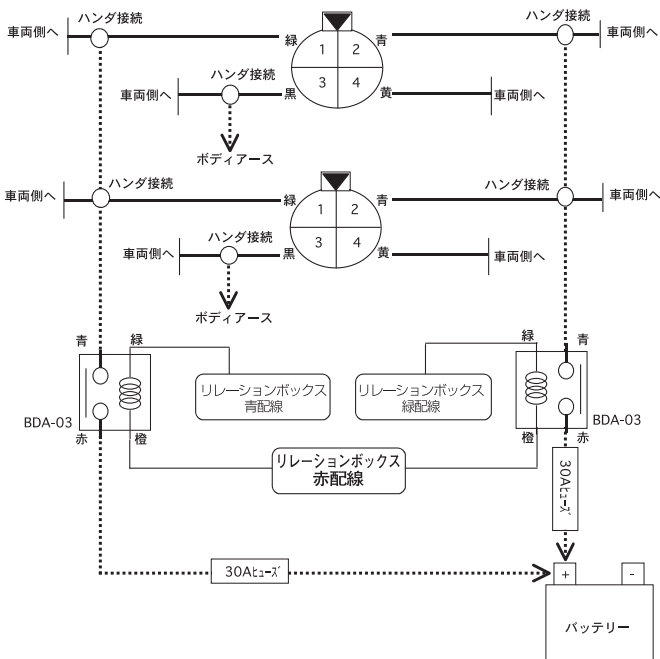
スズキ スイフトスポーツ ZC31S/21S/11S ※BDA-03×2が必要となります。

※取付には、ハンダ接続がございます。ハンダ部は必ずビニールテープ等で絶縁して下さい。



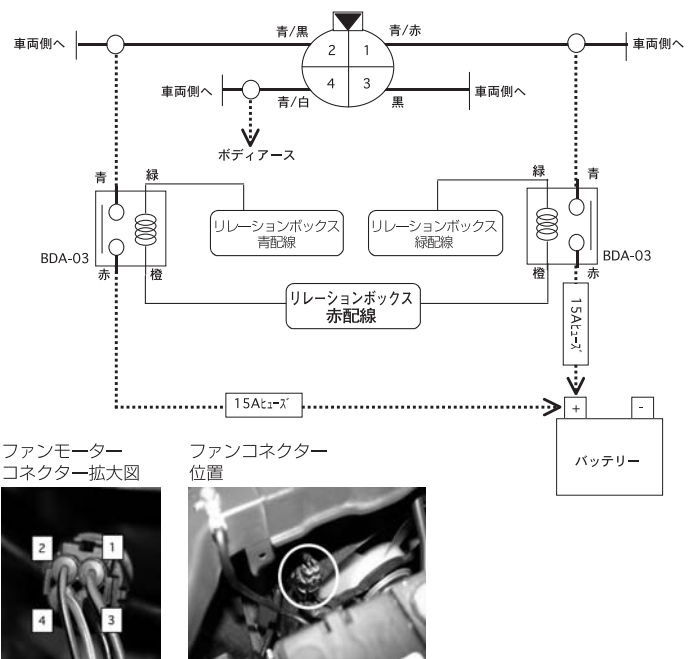
ニッサン フェアレディZ33 (H17/9～ HRエンジン不可)
後期VQ35DE
電動ファンコネクタは、電動ファンモーターに取付されています。

エンジンルーム 電動ファンモーターコネクタ2基



スズキ スイフトスポーツ ZC31S/21S/11S
M16A
電動ファンコネクタは、電動ファンモーターに取付されています。

エンジンルーム 電動ファンモーターコネクタ



※電動ファンモーターコネクタは、コネクタが接続されている状態を真上から見た図です。

【本体とハーネスの接続及び固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカブラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

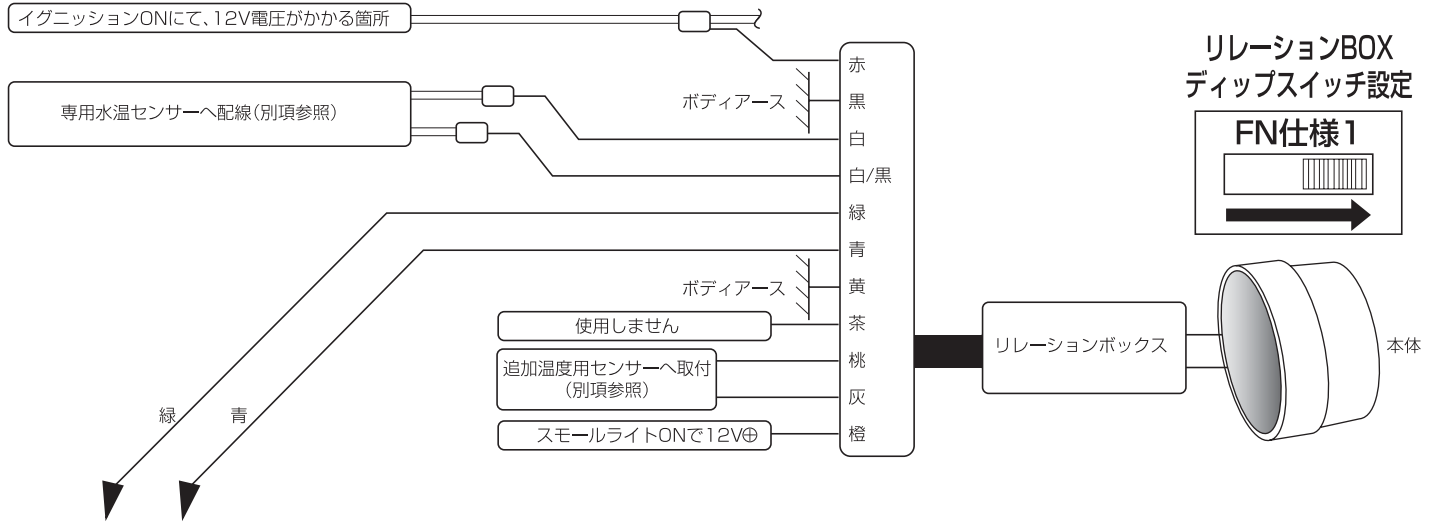
《取付方法》

1. エンジンを停止させ、バッテリーの⊖ターミナルを外し取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取り外して下さい。
2. 下記取付図を参考に、本体取り付けを行って下さい。ECUの端子図は、P.19以降をご参照ください。*リレションボックスは必ず室内に設置して下さい。
3. 専用追加センサーをご使用の場合は「P.17オプションについて」をご参考に取付を行って下さい。
4. 後付電動ファンを2基取付されている車両は、各々独立して制御が可能です。下図を良くご参照下さい。
5. 取付が完了したら、「P.15 初期設定」の項を参考に設定を行って下さい。

BVEL-001 取付方法 11

メーカー	車両型式
ニッサン	マーチK12/キューブBZ11 ※BDA-03×2が必要となります。
マツダ	ロードスター NCEC

※取付には、ハンダ接続がございます。ハンダ部は必ずビニールテープ等で絶縁して下さい。



ニッサン マーチK12 / キューブBZ11
電動ファンコネクターは、電動ファンモーターに取付されています。

エンジンルーム 電動ファンモーターコネクター

ファンモーターコネクター拡大図 ファンコネクター位置

※電動ファンモーターコネクターは、コネクターが接続されている状態を真上から見た図です。

マツダ ロードスター NCEC

この方向から見た図です。
(車両コンピュータ端子図)

車両コンピュータ

ECU リレションボックス

【本体とハーネスの接続及び固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体背面のカプラーに接続してください。
- P.15を参考に初期設定を行い、作動チェックを行ってください。
- 本体、配線は運転の妨げとならないよう、両面テープ、束線バンドなどでしっかりと固定してください。(本体は、直射日光の当たらない場所に設置してください。)

取り付けが完了したら・・・

まずは初期設定を行います。設定は全てリモコンで行います。リモコンの先を本体正面に向けて、初期設定を行ってください。ここの初期設定を誤ると正常に作動しないばかりか、本体故障の原因となります。慎重に行ってください。

1 リモコンのSETボタンを2秒以上押しして設定モードに入ります。
※リモコンを使用する前に、電池絶縁用の半透明プラスチックフレークを取り出してください。

2 電動ファンLo作動設定

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態が電動ファン低速作動温度の設定モードとなります。電動ファン段階作動の無い車種は、電動ファンの通常作動温度設定となります。UP/DOWNボタンにて作動温度を入力して下さい。(0~150℃)

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。

ファンLo 作動設定

90℃

設定してください

3 電動ファンHi作動設定

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態が電動ファン高速作動温度の設定モードとなります。UP/DOWNボタンにて高速切替温度を入力して下さい。(電動ファンLo作動温度~150℃)電動ファン作動段階の無い車種は、DOWNボタンで一番低い設定「未接続」にして下さい。※低速作動温度より低い温度には設定できません。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。

ファンHi 作動設定

未接続

設定してください

ファン Hi作動設定

105℃

設定してください

4 電動ファン停止温度設定

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態が電動ファン作動/停止温度差設定モードとなります。上記で入力した電動ファン作動温度から、ここで入力した温度分が冷却されると電動ファンが停止するようにする設定です。UP/DOWNボタンにて-1~10℃まで入力して下さい。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。(設定温度はLo/Hi共通となります。)

ファンディレイ温度

-3℃

設定してください

5 水温警告設定

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態が水温ワーニングの設定モードとなります。UP/DOWNボタンにてFAN Hi作動設定温度以上~150℃に設定して下さい。ワーニング状態になるとファンが高速作動し20秒間警告音が鳴ります。警告音はリモコンのいずれかのボタンを押せば解除されます。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。
- 設定値に関する注意事項がございます。

P18「故障かな?と思う前に…」の一番下の項目をご参照下さい。

水温警告設定

110℃

設定してください

6 追加センサー警告設定

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態が追加センサー用ワーニングの設定モードとなります。UP/DOWNボタンにて30~150℃に設定して下さい。ワーニング状態になると20秒間警告音が鳴ります。警告はリモコンのいずれかのボタンを押せば解除されます。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。

追加センサー警告設定

130℃

設定してください

●バックライト色が選択できます!
本製品は、バックライトの色を白/青/緑/アクア/オレンジから選択可能です。リモコンの「LIGHT」ボタンを押す毎にバックライト色を変更することができます。車内の雰囲気に合わせてお選び下さい。(SETボタン2秒以上長押しして選択完了です)

11 設定終了

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態で全設定が終了しました。2秒後に通常表示モードに戻ります。

全設定

終了

10 ELディスプレイ輝度設定

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態がELディスプレイの輝度(明るさ)調整のモードとなります。UP/DOWNボタンにて輝度(明るさ)を選択して下さい。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。

ディスプレイ輝度調整

7

設定してください

9 バックライト輝度設定

EL表示部に右図の通り表示されます。この状態がメーターバックライトの輝度(明るさ)調整のモードとなります。UP/DOWNボタンにて輝度(明るさ)を選択して下さい。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。

バックライト輝度調整

7

設定してください

8 警告音設定

EL表示部に下図の通り表示されます。ワーニング時の警告音設定になります。UP/DOWNボタンにてON/OFFを選択して下さい。OFFにすると、ワーニング時の警告音が鳴らなくなります。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。

警告音

ON

設定してください

警告音

OFF

設定してください

7 追加センサー名称設定

追加センサーを装着されている場合に設定します。追加センサーを取付けされていない場合はデフォルトの状態です。温度表示モードにて表示される追加センサーの名称を「吸気温/油温/追加センサー」の3種類から選択できます。UP/DOWNボタンで選択して下さい。

- 決定したら、SETボタンを1回押しして下さい。

追加センサー名設定

追加センサー温度

設定してください

追加センサー名設定

油温センサー温度

設定してください

追加センサー名設定

吸気温センサー温度

設定してください

●電動ファンを強制的に作動できます!
リモコンの「FAN ON」ボタンを押すと、5分間、電動ファンを強制作動させることができます。サーキットのタイムアタックや、走行後のクーリングに是非ご利用下さい。再度押すとFAN強制作動が解除します。

表示部の説明

- 通常表示モード 画面の切替
リモコン「MODE」ボタンを押す毎に表示は切り換ります。「電圧」→「メイン水温」→「追加センサー温度」→「電圧」
※追加センサー警告設定がされていない場合は「電圧」→「メイン水温」→「追加センサー温度」となります。

通常表示モード	電圧表示 MODEボタン	本体入力電圧 13.8V FAN ○○ OFF
	水温表示 MODEボタン 電圧表示へ	メイン水温 85°C FAN ○○ OFF
	追加センサー温度表示 MODEボタン	追加センサー温度 92°C FAN ○○ OFF

※電動ファンHi作動が未接続の場合は、下段表示部は「FAN ON」「FAN OFF」のみとなります。

電動ファン作動時	電動ファン Lo作動 ※下段 表示部には、黄文字でLoと表示されます。	電動ファン Lo作動
	電動ファン Hi作動 ※下段 表示部には、黄文字でHiと表示されます。	電動ファン Hi作動
	電動ファン Hi→Lo作動	電動ファン Lo切替
	電動ファン 停止時	電動ファン 停止

※電動ファンHi作動が未装着の場合は、表示が「電動ファン作動」「電動ファン停止」のみとなります。

ワーニング	水温ワーニング ※点滅します。リモコンのボタン操作で警告音だけ停止します。	メイン水温 警告
	追加センサーワーニング ※点滅します。リモコンのボタン操作で警告音だけ停止します。	追加センサー温度 警告
ピークホールド	水温ピークホールド UPボタン	メイン水温ピーク 115°C
	追加センサーピークホールド UPボタン	追加センサーピーク 125°C

自己診断機能



- スタートアップモード 表示説明
本体電源を投入すると、指針や画面が動き出し、スタートアップモードが起動します。このときにシステムチェックを行います。表示内容は下記の通りです。
- 自己診断機能はOK/NG/NA 3状態が診断できます。スタートアップモード以外に通常表示モードでも【故障】や【未接続】を表示します。
- メインセンサー未接続 「MAIN SENSOR NA」
- メインセンサー接続良好 「MAIN SENSOR OK」
- 追加センサー未接続 「SECOND SENSOR NA」
- 追加センサー接続良好 「SECOND SENSOR OK」

※黄色表示部に「NG」と表示される場合は、センサー配線の接続不良が疑われます。確認して下さい。

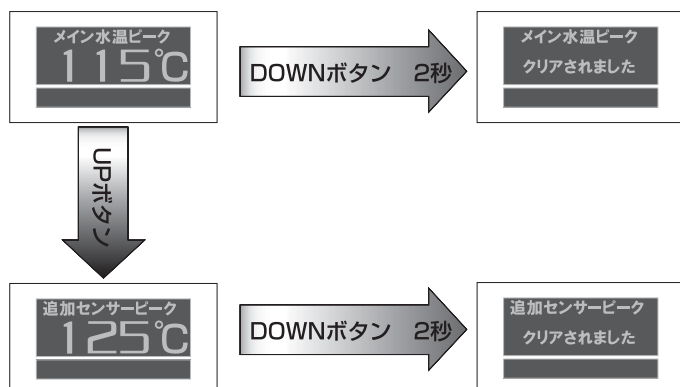
操作方法

- 通常表示モード 操作方法



※追加センサーが接続されていない場合は、「未接続」と表示されます。

- ピークホールド表示モード 通常表示モード中に、「UP」ボタンを押すと、「ピークホールド表示モード」に入ります。



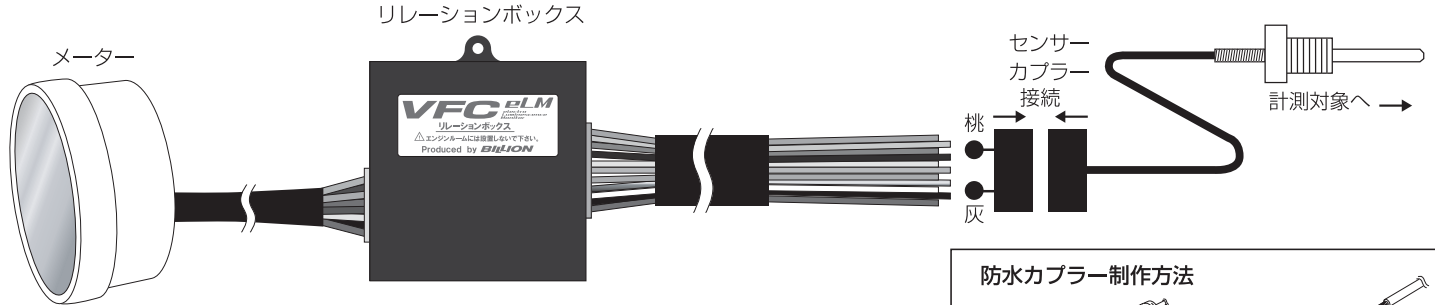
この画面は、計測中の最高水温を表示するモードです。この表示中に「DOWN」ボタンを2秒以上押し、内容がクリアされます。さらに「追加センサー」が装着されている場合は、水温ピーク表示中に「UP」ボタンを押すと、「追加センサーピーク温度」が表示されます。10秒経過すると、通常表示に戻ります。

この画面は、計測中の追加センサーの最高温度を表示するモードです。この表示中に「DOWN」ボタンを2秒以上押し、内容がクリアされます。10秒経過すると、通常表示に戻ります。

オプションの取付・・・

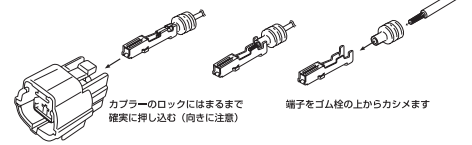
本製品は、専用センサーを追加すると、メイン水温の他に1つの温度を計測可能です。
以下の項目では、専用追加センサーの取付方法をご説明致しますので、必ず間違いの無い様、お取付をお願い致します。
特に接触不良が発生致しますと、センサーの破損等の恐れがございますので、細心の注意を持って取付けに臨んで下さい。

オプションセンサー取付図



※センサーカプラーはオプションパーツ、各センサーに含まれます。
※センサーで計測できる温度は0℃～150℃です。
※桃線、灰線には極性はありません。

防水カプラー制作方法



ドレンセンサー

純正エンジンオイルドレンボルトと交換するだけで油温の計測が可能となるセンサーです。
(適合詳細はお問い合わせください)



品番	適合メーカー	定価	備考
BVP-S12	トヨタ・日産用	¥5,800	M12 P1.25mm
BVP-S14	ホンダ・三菱用	¥5,800	M14 P1.5mm
BVP-S20	スバル用	¥5,800	M20 P1.5mm

1/8PT汎用温度センサー

ネジピッチ1/8PTの汎用センサー。1/8PTを取付可能なポイントであれば、どこでも使用できます。



品番	計測範囲	定価	備考
BVP-S18	0～150℃	¥4,800	1/8PT

吸気温度センサー

気体温度計測専用のセンサー。気体の激しい温度変化にも鋭いレスポンスで追従計測できます。



品番	計測範囲	定価	備考
BVP-S50	0～150℃	¥6,800	溶接ボス付

電動ファンリレーハーネスキット

後付電動ファンやモーターを直接制御する場合に必ず必要になります。1つのファンに対して1つのリレーが必要です。
4極 容量40A ヒューズ15A&30A
タイラップ3本付き



品番	仕様	定価	備考
BDA-03	4極 40A	¥2,500	

故障かな？と思う前に・・・

製品に不具合が生じた場合は、「壊れた！」と思う前に下記の確認事項を参照の上、必ず一度ご確認下さい。

症状	原因及び解決方法
温度が表示されない	配線(白)もしくは(白/黒)の配線箇所が違う。配線を再確認して下さい。
表示が警告状態になる	配線を再確認しても改善されない時は、接触不良が考えられます。
メーター上ではファン作動となっているが、実際に作動していない	配線(緑・青・茶)もしくは(黄)の配線箇所が違う。配線を再確認して下さい。 配線を再確認しても改善されない時は、接触不良が考えられます。
追加センサーの温度が表示されない	配線(桃・灰)の接触不良。追加したセンサーの警告温度を設定していない。 水温表示時にリモコン「MODE」ボタンを押してみてください。
各種チェックランプが点灯する	配線の配線箇所が間違っている。全配線箇所をチェックして下さい。 配線(黒)の接触不良。接触を確認して下さい。
温度表示が2～3℃の幅で動く	配線(黒)からノイズが乗っている。アース位置を変更してみる。 配線(赤)の電源が不安定。電源を安定した箇所から取り直して下さい。
他の電装品に温度表示が影響される	配線(黒)からノイズが乗っている。アース位置を変更してみる。 バッテリーが弱っている。バッテリーの電圧を安定させて下さい。
純正水温メーターに不具合 エンジン不調が起きる	本製品は、ECUから水温を取得出来ません。必ず付属の水温センサーを取付けて下さい。
電動ファンが回りっぱなしになる	リレーションボックス ディップスイッチの設定ミス。設定を再度確認してください。
ワーニング作動中、 ボタン操作が効かず 電動ファンは最大で作動し続ける。	ワーニング温度をサーモスタット開弁温度+10℃より低い温度に設定しないで下さい。 ワーニング温度より水温が低下しなければ、警告音は鳴り続け、ボタン操作は一切効かなくなります。使用中、水温がワーニング警告温度より降下せず、ワーニング状態から復帰できなくなってしまった場合は、一度本体電源をOFFし、リモコン「DOWN」ボタンを押しながら本体電源を投入して下さい。本体設定が工場出荷値にリセットされます。本体の再設定を行って下さい。

取付及び、各部確認が終わったら・・・

《本体機能及び、作動の確認》

①温度表示の確認

- ※ 全ての確認や取付等が終わりましたら、エンジンを始動させ、本体の電源を入れて下さい。まず、スタートデモンストレーションが約4秒間表示されます。スタートデモンストレーションが終了しますと、指針とELディスプレイに水温が表示されます。
- ※ 次に専用の温度センサーが取り付けられている時は、「MODE」ボタンを1回押してELディスプレイに温度が表示されていることを確認して下さい。表示されない場合は、専用センサー用のワーニング温度が設定されているか確認して下さい。それでも表示されていない場合は、リレーションボックスコネクターの「桃」「灰」線とセンサー接続部での導通を確認して下さい。

②VFC機能の確認

- ※ 走行をする前にアイドルリング状態で設定したファン作動温度まで水温を上げて下さい。上がった時に電動ファンがVFCのコントロールで作動するかを確認して下さい。(必ず走行前にご確認下さい。)作動時にEL表示部に「電動ファンLo作動」「FAN ●○ Lo」と表示されることをご確認下さい(H i が未接続の場合は「FAN ON」と表示)
- ※ ファン高速作動の取付けを行った車種に関しては電動ファン高速作動温度まで、水温を上げて下さい。水温が上昇したら制御が高速に切替る事を確認して下さい。作動時にEL表示部に「電動ファンHi作動」「FAN ●● Hi」と表示されることをご確認下さい。
- ※ 電動ファン停止温度設定の確認を行います。初期設定にて入力した1～10℃にて、ファンが停止するかを確認して下さい。(例:ディレイOFFを2℃に設定、ファン作動温度80℃の場合、78℃でファンが停止するかの確認)

③ワーニング状態の確認

初期設定ページを参照し、水温のワーニング温度を50℃に下げて現在水温以下に設定して下さい。設定後、「MODEボタン」を押して水温表示状態に戻ると、各LEDが点滅し、該当温度の表示部が点滅します。この状態がワーニングに入った時の状態なので、覚えておいて下さい。確認後、本体設定のリセットを行います。一度本体電源をOFFし、リモコン「DOWN」ボタンを押しながら本体電源を投入して下さい。本体設定がリセットされますので、再度設定を行って下さい。

保証書

販売店の方へ 本製品を販売されたら、必ず販売店印を捺印し、販売日をご記入して下さい。

製品ご購入日	
保証期間	上記ご購入日より1年間
販売店印欄	
ご購入者様	

本製品は、弊社の厳格な検査を合格した製品です。

万一、ご購入日より1年以内に弊社の責任と認められる故障、不具合が発生した場合は、本保証書をご提示頂ければ、下記の規定により無償にて修理、良品との交換をいたします。

1 保証の範囲

- ・本保証書で保証される範囲は、製品本体に限定されます。
- ・製品の取付けや使用に起因する本製品以外の損害については保証されません。
- ・本保証は、日本国内で使用されている製品に限定されます。

2 保証適用の条件

- ・製品を取扱説明書記載の通りに取付けを行い、製品に不具合が発生した場合。
- ・製品を取扱説明書記載の通りに操作を行い、製品に不具合が発生した場合。
- ・使用中、天災・事故等災害や使用中の不注意により損害をきたした製品は除く。
- ・販売店印の無い保証書は無効となります。
- ・御購入より、1年以内でも、取付けや取扱の不備による故障は有償となります。

※上記の条件に適合しない場合は保証対象外となり、有償にて修理をお受けいたします。

3 製品の交換について

場合により、製品の交換をさせていただく場合がございます。

この場合は、交換させていただく製品は弊社が新品同等品と認定した製品となります。

4 保証書の再発行について

本保証書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管して下さい。

★本保証の適用を申請される場合は、製品に本書を添えて販売店までお申し出下さい。